

#### IV. 若年層向けの取組について

### 2. 北方領土問題やそれに関する取組に対する意見 (Q16)

情報発信や広報など北方領土問題の認知度を上げる取組を求める意見や、返還要求運動を継続することの重要性、日露双方にとってより良い解決策を検討することの大切さなどの意見が見受けられた。

Q16. 北方領土問題やそれに関する取組に対してご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

意見	件数
情報発信や認知度について	96
北方領土問題や関連する取組についてもっと広く周知・情報発信する	45
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でなかなか活動できない 政府側からもっと情報を発信してほしい</li> <li>・どのような活動をしているのかが、もっとPRできればよいと思う</li> <li>・もっともっと問題について理解してもらったり、広めたりする必要があると思う</li> <li>・今、置かれている状況をリアルに発信してほしい</li> <li>・若い世代の人は、何となくという感覚でしか知らないから、より深く、まずは知ってもらい、興味を持ってもらう必要がある</li> <li>・北方領土問題は知ってるけれど、なぜそうなったなどの問題の原点を知らない人がほとんどだと思うので、“原点”を広める活動、取り組みをしたら広がると思った</li> <li>・北方領土問題をより多くの人々に知ってもらうためにもう少し活動の幅を増やした方がいいのではないかと感じた</li> </ul>	
(若者が) 参加しやすい取組や気軽に学べる場の提供	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スルーされないような、堅くなりすぎない宣伝や企画などをするとよいと思う</li> <li>・もっと参加しやすい環境をつくってほしい。北方領土の日以外でも、いろいろな場合で関心が持てたり、発表などの場所をつくってほしい</li> <li>・領土問題に対することに関して、事業に参加するまで、私自身、他人事だと思つてところがあった。何かきっかけがあれば変わるので、誰でも簡単に領土問題に対して関われる場を設ける (例えば、北方領土のクイズ大会など)</li> <li>・もっと若い人が取り組めるようにするとよいと思う</li> <li>・子どもを惹きつけるような取り組みがあるとよいと思う</li> </ul>	
テレビ、CM、ラジオ、新聞などの情報発信	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月7日に、たくさんの局で北方領土について放送してほしい</li> <li>・「ジョパンコの島」をテレビ上映してほしい。テレビコマーシャル等でも、北方領土に関する活動の紹介や情報を発信してほしい</li> <li>・講演会をする際は、思いきってコマーシャルなどを利用して広告する</li> </ul>	
学校の授業などで北方領土問題についてもっと取り扱うべき・意見交換の場を増やす	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加してみて、自分の知らないことがたくさんあった。中には誤って認識していた事実もあった。もう少し授業で、北方領土問題について深く取り扱った方がよいのではないかと</li> <li>・小・中学校で、もっと詳しく習いたいと思った</li> <li>・代表生徒、または教師を通して、学校で北方領土問題について考える。例えば、代表で活動し、報告を繰り返す。他校ではどんなことを話し合っていたのか参考になる。意見を活発に交換できる場が増えるとよいと思う</li> </ul>	
SNSを使った情報発信	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの発信をすればよいと思う</li> <li>・もっとSNS、ネットなどを利用するとよいと思う</li> <li>・若い世代はネットやSNSをよく利用するのでそれを利用すれば良いと思う(署名活動のオンライン化など)</li> </ul>	
若者への周知や情報発信が必要	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと若い世代の関心を高めて解決に導いてほしいと思う。今の世代の人たちは若者も老人も全然関心を持ってない</li> <li>・今の小・中学生など、特に若年層の理解と協力が必要だと思う</li> <li>・北方領土に住んでいた人は、もう高齢の人が多く、若い世代の人に、北方領土問題を忘れないように訴える</li> </ul>	
自分でできる取組や活動などがあれば進んで参加したい・自分から積極的に情報発信する	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たち訪問経験者の方からも積極的に経験談を拡散する必要がある</li> <li>・私にできることもまだまだたくさんあるし、情報を共有するだけでも貢献できると思うので、積極的に行っていききたい</li> <li>・若い世代の人たちに関心を持ってもらうよう働きかけたい</li> </ul>	

#### IV. 若年層向けの取組について

意見	件数
北方領土問題・北方領土返還要求運動について	45
解決するまで運動・取組・事業は続けるべき	12
日本、ロシア双方にとってより良い解決策を探ることが大切	12
北方領土問題は簡単には解決できない・深刻・重大な問題	7
北方領土問題・北方領土返還要求運動に対する要望や提案	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージキャラクターがいるのはよいと思う。返還運動はよいと思うが、それをもっとPRするべき</li> <li>・元島民の方々には残された時間があとわずかとなる中、その意志をしっかりと引き継ぐ人材育成が急務</li> <li>・少し、重く、暗いイメージで、最初はとつきにくい。そのイメージを払拭したい</li> <li>・北方領土問題というと、どこか「右より」な思想を持っているといった誤解がある。一人ひとりが歴史的背景を理解し、置かれている現状が間違っていることを当たり前だと思える環境が必要。若年層の取組も未成年ゆえ、保護者の考えが強く影響する。「危ない思想」というような誤解をもたせないことも必要</li> </ul>	
北方領土は返還されるべき・北方領土は日本の領土・早く解決するべき	4
北方領土問題や関連する取組に対する好意的な評価	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもよいと思う</li> <li>・みんなに知ってもらえるからよいと思う</li> <li>・北方領土問題について様々な取組をしておられてとてもいい</li> </ul>	
北方領土問題について否定的・批判的な意見	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マジで北方領土返還は無理</li> <li>・北方領土は日本に必要なと考えている人が多いと感じる</li> <li>・内輪だけで進めている</li> </ul>	
各事業（研修会、セミナー、育成事業、現地視察、コンテスト、弁論大会、交流事業など）について	44
各事業や取組の機会を増やしてほしい	23
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと、多くの青少年が北方領土に行ける機会を作った方がよいと思う</li> <li>・情報発信など、間接的な取り組みではなく、現地視察を含めた、直接的な活動をより多く行った方がよいと思う。それらの活動内容を交流する場を設けてもよいと思う</li> <li>・北方領土周辺地域へ修学旅行で行けたら、若年層が関心を持つきっかけとなると思う</li> <li>・ビザなし訪問は学生などが参加できる枠が限られているのでもう少し広げてほしいと感じる</li> <li>・北方領土に関する交流会を増やせばよいと思う</li> <li>・大学や中・高で、ICTを通じた元島民の方との対話。元島民の方々は高齢化が進んでいると聞く。移動の負担もないため、メリットは大きいのでは</li> <li>・小・中学校などの社会科の時間に、日本の領土問題について考える機会をもっと設けることが必要だと思う。学生を中心とした現地視察を継続することが必要だと思う</li> </ul>	
北方領土問題に関する取組に参加出来て良かった	12
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に行くことで、初めて知ることがたくさんあったので、こういう機会は貴重</li> <li>・北方領土へ伺えたのは何年か経った今でも貴重な体験だったし、周りの人にも思い出話など機会があればしている。素敵な機会を提供してくだりありがとうございました</li> <li>・とにかく北方領土問題に関する取組に参加出来て心から良かったと思う。若い世代の人に知ってもらえる機会が増えてほしい</li> </ul>	
各事業や取組は継続してほしい	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のようなイベントは継続して行った方がよいと思う。とても勉強になった</li> <li>・今、北方領土返還はとても厳しいかもしれないが、ぜひ活動を続けてほしい。そして、僕たちのような体験を他の人にもしてほしい</li> <li>・この取り組みは、コロナ禍ではあるが、ぜひ続けてほしい。なぜなら、実際に参加してみて、教科書に載っている小さな情報だけでなく、元島民の話を聞いて学んだり、他の県からの生徒たちと意見交換ができて、とても貴重な体験をさせてもらったから</li> </ul>	
これからも各事業や取組には参加したい	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも機会があれば参加していきたいと思っている</li> <li>・どうしても身近に感じにくい部分があるので、そういう事業があればできるだけ参加していきたいと思う</li> </ul>	

#### IV. 若年層向けの取組について

意見	件数
国や政府について	15
国や政府に対する要望・提案	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府がもっと強くロシアに返還を要求すべき</li> <li>・政府がもっと動いてほしい</li> <li>・慎重に考えて問題を解決してほしい</li> <li>・相手の国の顔色ばかりをうかがわずに、対等に話し合う姿勢を見せるべき</li> <li>・国のトップがそれについてよく話し、決めるしかない</li> <li>・ロシア側に遺憾の意を表明するだけでなく、多くの経済交流・島民交流を行い、日本側の存在を認識してもらう必要があると感じている。そのためには外務省・経産省・内閣の横断的な取組が必要となる</li> <li>・外務省や内閣府のホームページを見ても、ロシアがどういう主張をしていて、どれだけその主張がおかしいのかがまいちわからない。一つ一つロシアの過去の主張を取り上げて論破する方式をとった方がよいのではないか</li> <li>・コロナ禍でなかなか活動できないので 政府側からもっと情報を発信してほしい</li> <li>・北方対策担当大臣と北方領土について討論できる機会があったら嬉しい</li> </ul>	
国や政府に対する批判的な意見	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本政府は弱腰</li> <li>・担当大臣のアピールが弱いと感じる</li> <li>・取組について何も届いていないので、ちゃんと活動してからこういうものを制作する</li> <li>・ビザなし交流に参加したことのある政治家は「北方領土に行って終わり。ブログには行程を載せただけ」という政治家が多かったように感じる</li> </ul>	
国や政府に対する好意的な評価	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事業を継続して行っている外務省をはじめとする各種団体に敬意を表すとともに感謝している</li> </ul>	
北方領土問題の難しさについて	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治的部分は触れにくいところが難しい</li> </ul>	
各取組について	8
各取組に対する要望・提案	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人でも、多くの人に関われるようにする</li> <li>・署名を書くことでできる機会を増やしていく</li> <li>・もっと活動を活発に行って、私も参加したいと思う。1回しか署名活動に参加をしていないので、現地に行った自分の役目が果たせていないように感じる</li> <li>・北方領土周辺でとれたものなどを購入して販売（特別に日本の漁師がとれるようにする）。その土地に行ってみたい、「むっちゃええやん」と思わせることが必要（おいしい食べ物、伝統的なもの）</li> <li>・「領土問題」「領土を返せ」という無機質な言葉を掲げて活動すること自体を一度おやすみするべきかと思う。「なぜ返してもらいたいのか理由を説明します」ではなく「暮らしていた人々の思いを実感してください。そして、この人々を幸せにするために私たちは何が出来るか一緒に考えてください」ということが伝わるキャッチフレーズや画像等が必要だと思う。かつて暮らしていた人々の願いを強く伝えていく取組だとどんな世代・思想の人も参加しやすいと思う。単純に、北方領土での過去の暮らしを知ってもらい、北方領土に今現在どのような規制をされており元島民の方は何を求めているのか、を知るセミナーや講習会ではだめか</li> <li>・学生が参加できる取組を作る</li> </ul>	
各取組に対する好意的な意見	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土セミナーは、領土問題ではあるけれどもその根本には元島民の方々がこのような想いを抱えている。ということが強く伝わる取組だと感じている。だからこそ自分の考えが大きく変わった数日間だった</li> </ul>	
各取組に対する批判的な意見	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・署名運動にはあまり意味があると思えない。日本政府は、もしロシア政府が我が方の署名数を上回る反対署名を提出するなら諦めるつもりなのだろうか。もし署名に自己満足以上の意味を見出しているなら、それをもっと広報し周知する必要がある</li> </ul>	
その他	5
その他の領土問題についての意見	4
その他の意見	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組ではないと思うが、内閣府の北方領土関係の方とお話してみたい</li> </ul>	